



2025年6月26日

各位

会社名 昭栄薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 佐一郎
(コード番号: 3537 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役財務本部長 成瀬 幸次
電話番号 06-6262-2707

当社取締役会の実効性評価の結果の概要についてのお知らせ

当社は、コーポレート・ガバナンスの強化に向けた取組みとして、当社取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実効性評価の方法の概要

当社は、取締役会の実効性に関して、2025年3月期を評価対象期間として、全取締役（社外取締役を含む8名）を対象に4段階評価及び自由記述方式でアンケートを実施し、無記名方式で全員より回答を得ました。実施に当たっては、外部機関による助言を得た上で回答結果の集計、分析を実施し、その結果を基に取締役全員で討議し、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしました。

取締役会実効性の評価項目（全38問）

1. 取締役会の構成について（6問）
2. 取締役の運営について（8問）
3. 取締役会の議題について（13問）
4. 取締役会を支える体制について（6問）
5. 取締役会として株主との対話について（2問）
6. 取締役（監査等委員を含む）による自己評価（新設3問）

2. 評価結果の概要

(1) 評価結果

2025年3月期の取締役会につきましては、アンケート項目の過半数が、前年評価と同水準または評価が上昇し、取締役会の構成、頻度、時間、討議内容（量・質）、意思決定プロセス等は概ね適切であり、取締役会の実効性は適切に確保されているものと評価いたしました。

また、今年度より新設した「6. 取締役（監査等委員を含む）による自己評価」の3問についても平均点が3点を上回り、各取締役が会社の目指すべき方向性を十分に理解した上で、取締役会や委員会においてそれぞれの発言・提案が会社の成長やガバナンスの向上に資するものとして適切に反映されていると評価いたしました。

(2) 前年度評価からの取り組み

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に向けて、資本収益性と資本コストについて現状評価・分析を行い、市場評価を踏まえ、改善に向けた方針・目標及び取り組みを検討し、取締役会の決議を経た上で、取り組み内容を開示しました。

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の中で売上高、ROE、PBRの中長期的な目標を設定・開示し、その実現に向けたキャッシュフローと具体的な投資方針など明確にしました。

サステナビリティの課題では、今後の人的資本の開示を見据え、女性管理職比率・男性の育児休暇取得・男女間賃金格差などの自社状況と公表会社状況の実態把握を行いました。

従業員エンゲージメント調査の実施結果を受け、全従業員にフィードバックセッションを行い、全社アクションプランを作成し、外部講師によるメンタルヘルスケア等の研修を行いました。

(3) 前年度評価から継続課題

経営陣の報酬やサクセッションプランなど、改めて審議・議論を深めていく必要があると認識いたしました。また、今後の中長期的な事業戦略や人材戦略、人材育成、サステナビリティや人的資本等については、今般開示いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の内容を踏まえ、より一層議論を深めていく必要があると認識いたしました。

3. 今後の対応

今回の評価結果を踏まえて、引き続き課題改善に努めるとともに、取締役会は、今後とも、透明・公正な意思決定を行うべく、コーポレート・ガバナンスの強化と継続的改善に取り組むことにより、更なる企業価値向上に努めてまいります。

以上